

産業

近隣自治体での大手半導体製造業の立地に伴い、関連企業の進出が見込まれていることから、企業誘致の受け皿となる益城インター北産業団地の整備の取り組みを進めています。町の特性に適合した製造業や物流業などの積極的な誘致も推進しており、令和5年度には6社と立地協定を締結しました。



▲ 立地協定調印式(令和5年12月 株式会社JCU)



1 スイカとミニトマトを使用した4つの商品。「すいかあいす」は2年連続で完売御礼 2 新製品の「柿ジャム」

株式会社もへじ、日本航空株式会社、東海大学、JAかみましきとの連携により、令和4年度に町内産のスイカとミニトマトを使用した4つの商品を開発。令和5年度には、町を代表する秋の味覚・太秋柿を使用した「柿ジャム」を開発し、全国のカルディコーヒーファームで販売。大変好評をいただきました。

くらし・教育・子育て



新たに「木山広安コミュニティバス」のルートを設定し、交通不便地域の対策である福田・津森の乗り合いタクシーと併せて、コミュニティ交通「UMEらいん」の運行を開始しました。今後も、バス停や運行ルートの需要を分析し、町の活性化を支える持続可能な公共交通ネットワークの構築を進めます。

地域の魅力づくりの柱である「潮井自然公園」に大型遊具や水遊び場を整備。キャンプ場の一般開放も開始しました。本格運用開始に向けて着々と整備を進めています。

潮井自然公園キャンプ場 ▶



子育て世代の共働きの割合が増えていることや、町への移住が増加傾向にあることを踏まえ、待機児童の問題解消のため、保育施設の整備を進めました。令和5年度から2カ年にわたり、288人分の保育の受け皿を確保しました。

▼ 令和5年4月に開園した第三空港保育園



台湾台中市大甲区と友好交流協定を締結し、交流を深めるためのさまざまな取り組みを、大甲区と協力しながら計画しています。

まずは、子どもたちの国際交流を進め、令和6年3月には津森小と大甲国民小学校とのオンライン交流授業を実現しました。



◀ オンライン交流授業

この他の事業の進展状況などは、町ホームページで公開しています。

問 企画財政課 復興企画係 ☎ 286 - 3223